

新産会

Toward the 50th anniversary



新世代産業研究会 / 発行
発行責任者 大谷 裕
編集責任者 岡本 悦生
令和5年1月1日 発行

<https://www.shinsankai.gr.jp/>



新年あけましておめでとうございます
謹んで新春の祝詞を申し上げます



旧年は、新産会諸行事に格別のご理解とご協力をいただきまして、改めて心より御礼申し上げます。
また、各事業実施に際し、副会長・理事の皆様を中心に多大なるご尽力を賜り、
誠にありがとうございました。

2023年は、新型コロナが「5類」へ移行し、行動の制限や、自粛のない、日常が戻った年でありました。
人や経済が動き出したことにより物価が上昇し、電気やガス、ガソリン、原油などのエネルギー源の上
昇、さらには円安の影響を受け、輸入品や材料、物流コストも上がり、「物価上昇」の1年となりました。
モノやサービスの付加価値を上げ、雇用主として賃金を上げる。
言葉で表すのは簡単ですが、非常に大きな課題をどう乗り越えていくのか。
また、ロボットやシステムによる省人化、生成AIをいかに活用し、デジタル化を推進していくのか、
変化に対応する柔軟性が求められているように感じます。

デジタル化が進むこのような時代だからこそ、「人とのつながり」の大切さを強く思う次第であります。
新産会は愛知県で活躍する素晴らしい企業経営者の集まりであり、互いをリスペクトし合い、本当の
「つながり」ができる会だと思います。

2025年の50周年にむけて、会員同士はもちろん、愛知県、あいち産業振興機構との
「つながり」を強く持ち続けながら、力を合わせてこの激動の時代を乗り越えてまいりましょう。

2024年も執行部の皆様と共に、新産会の結束を強くできるような、楽しく、有意義な事業を
企画してまいります。会員の皆様も積極的にご参加賜りますようお願い申し上げます。

最後に、会員皆様の益々のご繁栄と、皆様のご家族、社員様のご多幸を祈念いたしまして、
新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。



令和6年元旦
会長 大谷 裕



忘年会開催報告

2023年12月5日(火) 中区栄3丁目の富士屋本店において
参加者21名で2023年度 新世代産業研究会忘年会在予定通り開催されました。

冒頭に就任8か月となる若くリーダーシップに溢れる大谷裕会長から今年一年の活動ご協力の感謝の挨拶がありました。

続いて歴代会長の山田茂樹氏から、元気はつらつとする乾杯の挨拶にて華やかに会が始まりました。昭和12年創業の老舗日本料理店ならではの美味しい料理とそれにもまして種類豊富なお酒に囲まれる中、お酒も進み会話も大いに弾むことが出来ました。

今後の運営方法や情報提供など会員同士が今以上に交流でき楽しめ、会員増強に繋がることなどそれぞれのテーブルで楽しい会話で盛り上がりました。特に興味深い話として今話題の生成AIチャットGTP4.0の体験会を早急に実施したいという意見も出ました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ去り、前会長の浅野慎之氏が中締めとして今年の反省と来年の益々の発展を祈り、一丁締めにて無事閉会することが出来ました。

来年も今年以上に楽しい会の運営ができることを祈念いたします。
ご参加の皆様、お疲れさまでした。

44期 倉知清和



事務局からのお願い

次期会長候補者の選出について

令和6年度の会長候補者を選出する時期になりました。
立候補される方は1月31日(水)までに下記あてに提出を済ませてください。
2月13日(火)開催の理事会にて立候補者を決定し、総会に諮ることとします。

会員名簿の作成について

令和6年度版会員名簿の作成準備を進めています。
現行名簿(令和4年度版)から変更のあった方、
また追加表記のある方は **1月31日(水)まで** にFAXでご連絡ください。
指定期日までにご連絡のなかった方につきましては「変更なし」として取り扱わせていただきます。

【事務局】

株式会社NCネットワーク名古屋 大谷 宛
FAX : 052 - 253 - 5796

2024年 年頭所感

新春を迎えて



愛知県知事 大村秀章

あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様にとりまして
素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、アフターコロナへの動きが加速する中、安心な日常生活を取り戻し、社会経済活動を回すための取組をオール愛知一丸となって進めてまいりました。

そうした中、昨年は、新たに「もののけの里」が開園した「ジブリパーク」を始め、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」や「愛知国際アリーナ」の整備を着実に推進するとともに、2026年の愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会に向けた準備をしっかりと進め、愛知を更なる「飛躍」へと導く1年とすることができました。

また、国に先駆けて取り組んだ「少子化対策パッケージ」や、本県独自の「休み方改革プロジェクト」など、時代の流れを見極めながら、愛知が「ファースト・ペンギン」となり、様々な取組に果敢にチャレンジした1年でもありました。

世界は、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展、SDGs実現に向けた潮流など、大きく変化をしています。こうした変化に的確に対応し、将来にわたり、愛知が成長を続けていくためには、何より、愛知を支える「人づくり」が重要となります。

今年も、日本の未来を形づくるビッグプロジェクトを着実に進めるとともに、新時代を担う人材の育成・発掘に力を注ぎ、「日本一元気なあいち」の実現を目指してまいります。

今年3月には、ジブリパーク最大のエリアである「魔女の谷」が開園し、フルオープンを迎えます。また、10月には、「STATION Ai」がいよいよ開業します。世界中から、最先端の技術・サービス、人材を愛知に呼び込み、新たなイノベーションを次々と創出することで、更に人材が育ち集まってくる、そうした人材の好循環を生みだし、更なる愛知の成長につなげてまいります。

もちろん、こうした取組とあわせ、社会インフラ整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様のご生活と社会福祉の向上にも力を注いでまいります。

引き続き、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる「日本一住みやすい愛知」、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。